

政治資金監査実施要領（現場対応マニュアル） ～会計責任者等に対するヒアリングに当たっての留意事項～

1. 会計責任者等に対するヒアリングの意義・目的

- 会計責任者等に対するヒアリングは、職業的専門家である登録政治資金監査人が会計責任者本人に対しヒアリングを行うことにより、領収書等の亡失等により書面監査では政治団体の支出の状況が確認できなかったものについて、支出の実体を確認するとともに、書面監査で支出の状況を確認した政治団体の支出のうち一定の支出について適法性等を確認し、さらなる収支報告の適正の確保を図るものである。
- 併せて、政治団体の会計処理方法や会計帳簿の支出項目の区分の分類方法等を確認することにより、政治団体の会計処理の適正化も期待できるものである。

2. ヒアリング事項

- 会計責任者等に対するヒアリングにおいては、以下に掲げる事項について、ヒアリングを行うものとする。
 - ・ 会計処理方法
 - ・ 支出項目の区分の分類【P】
 - ・ 書面監査では支出の状況が確認できなかったもの
 - ・ 書面監査に加えて、支出の状況の詳細を確認する必要があるもの
- 書面監査では支出の状況が確認できなかったものには、次のものが該当する。
 - ・ 領収書等を亡失したもの
 - ・ 領収書等又は振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書により支出の状況が確認できない人件費で、賃金台帳、源泉徴収簿等の人件費を確認できる書類の存在しないもの
 - ・ 高額領収書等のあて名に当該国会議員関係政治団体に対して発行されたことが推認されない名称が記載されているもの
 - ・ 「政治資金監査実施要領」の「領収書等を徴し難い事情の具体例」以外の事由で領収書等を徴し難かった支出の明細書に記載しているもの

- 書面監査に加えて、支出の状況の詳細を確認する必要があるものは、次のとおりである（なお、その他の事項のヒアリングを妨げないものである。）。
 - ・ 政治資金監査を行った現場の事務所が、当該政治団体の活動以外の活動にも使用されていると認められる場合における経常経費（光熱水費、家賃、固定資産税等）
 - ・ 事務所費に事務所の借料損料（地代、家賃）が記載されていない場合における借料損料【P】
 - ・ 他の政治団体に対する支出
 - ・ 花輪、供花、香典、祝儀その他これらに類する支出

3. ヒアリングの実施方法

- ヒアリングでは、まず、政治団体の会計処理方法についてヒアリングを行い、当該政治団体の会計処理の現状について把握する。
- 政治団体の会計処理方法については、以下の事項をヒアリングで確認すること。
 - ・ 政治団体の支出手続（支出伺い・決裁・支払い方法等）について聴取し、会計責任者が会計処理を管理しているかどうか。
 - ・ 会計帳簿への記帳については、支出の都度行っているのか、ある程度の期間ごとに行っているのか（支出の都度、会計帳簿へ記載することが望ましい。）。
 - ・ 会計処理に関してどのような書類を作成しているのか。
 - ・ 会計帳簿や領収書等について、どのように保管しているのか。
 - ・ 会計責任者の交代があった場合、どのように事務の引継ぎを行っているのか。
 - ・ 書面監査において、収支報告書の記載不備、計算誤り等を指摘したものについて、適正に訂正されたか。
- 政治団体の会計処理方法についてのヒアリングの結果、会計処理を改善できるものがあつた場合には、必要に応じて、会計責任者等に対し助言等を行うものとする。
- 会計帳簿の支出項目の区分の分類については、省令で定める分類基準及び「政治資金監査実施要領」の「会計帳簿の記載要領」に照らし、支出項目の区分の分類に誤りがないうことの確認を会計責任者等に求める。【P】
- 領収書等の亡失により支出の状況の確認ができないものについては、領収書等亡失一覧の作成を求め、その事情を会計責任者等に確認する。

- 領収書等又は振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書により支出の状況が確認できない人件費で、賃金台帳、源泉徴収簿等の人件費を確認できる書類の存在しないものについては、その事情を聴取し、人件費が支出されたことの確認を会計責任者に求める。
- 高額領収書等のあて名に当該国会議員関係政治団体に対して発行されたことが推認されない名称が記載されているものについては、これらの領収書等が当該国会議員関係政治団体あてに発行された領収書等であることの確認を会計責任者等に求める。
- 「政治資金監査実施要領」の「領収書等を徴し難い事情の具体例」以外の事由で領収書等を徴し難い支出の明細書に記載しているものについては、その事情を会計責任者等に確認する。
- 政治資金監査を行った現場の事務所が、当該政治団体の活動以外の活動にも使用されていると認められる場合における経常経費について、当該政治団体の活動に係る経常経費とそれ以外の経常経費とをどのようにあん分しているかを会計責任者等に確認する。
- 事務所費に事務所の借料損料（地代、家賃）が記載されていない場合における借料損料について、借料損料が記載されていない事情を会計責任者等に確認する。【P】
- 他の政治団体に対する支出については、当該支出については支出を受けた政治団体において適切な会計処理が行われていることを会計責任者等に確認する。
- 花輪、供花、香典、祝儀その他これらに類する支出については、これらの支出に公職選挙法に抵触する支出が含まれていないことの確認を会計責任者等に求める。

4. その他の留意事項

- 会計責任者等に対するヒアリングは、原則として、会計責任者本人に対し行わなければならないが、会計責任者が対応することができない特段の理由がある場合には、会計責任者の職務代行者に対し行っても差し支えない。
- なお、会計責任者の職務を補佐する者が、会計責任者等に対するヒアリングに同席し、登録政治資金監査人からの質問に回答することは差し支えないものである。

- 会計責任者等に対するヒアリングについては、必ず登録政治資金監査人が行わなければならない。使用人等のみで行ってはならない。